

ハプロファーマ社、イルミナ社 NovaSeq™ X Plus システムを日本で最初に導入。日本のゲノム解析を大幅に加速

イルミナ社の最新の次世代シーケンサー(NGS)システムの日本での1号機を東北大学発のベンチャー企業ハプロファーマ社が導入、東北大学東北メディカル・メガバンク機構との共同研究を加速し、関連企業とも連携を強化して日本のゲノム解析市場を拡大

【プレスリリース】

株式会社ハプロファーマ（以下、ハプロファーマ社）は本日、NovaSeq™ X Plus システムのインストールを完了したことを発表しました。NovaSeq™ X Plus システムは、イルミナ株式会社（以下、イルミナ社）が2022年10月に発売を発表した最新の次世代シーケンサー(NGS)システムであり、ハプロファーマ社に導入された NovaSeq™ X Plus システムが、日本で初めての装置となります。

ゲノムシーケンス受託解析などの遺伝子解析サービス事業、診断機器・検査薬の開発、および創薬開発を行うハプロファーマ社は、東北大学発のベンチャー企業として、これまでも東北大学 東北メディカル・メガバンク機構（以下、ToMMo）と連携し、その解析技術をもとにして、NovaSeq™ 6000 シーケンサーを駆使した大規模な NGS による全ゲノム解析を進めてきました。このたびの NovaSeq™ X Plus システムの導入は、この連携をより強化するとともに、日本のゲノム解析市場の拡大を目的としています。

日本での第一号となる NovaSeq™ X Plus システムの導入に際し、ハプロファーマ社の大滝義博代表取締役社長は次のように述べています：

「2003年に完了したヒトゲノム計画ではヒト一人のゲノム解析に10年の歳月と膨大な研究開発予算が使われましたが、今回の NovaSeq™ X Plus は2日で約128人の全ゲノム解析をより高精度に実行できる能力を持っています。今後当社は、さらなる低コスト、高精度のヒトゲノム解析を実現し、その成果を関連企業との解析に活用して日本のゲノム解析市場を拡大してまいります。また、従来では不可能であった新しい創薬開発や診断薬の開発が可能となり、個々人にあったヘルスケアなど様々な新しいサービスをご提供できると期待しております。」

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構の山本 雅之機構長は次のように述べています：

「ToMMoは個別化ヘルスケアの実現のため、10万人の全ゲノム解析を目指しています。これは世界でも有数の取組です。次世代シーケンサーの発展は著しく、この度のNovaSeq™ X Plusの導入は、我々の取組を加速させるとともに、今後の我が国のゲノム解析とそれに基づく個別化ヘルスケアの発展に大いに資することが期待されます。」

イルミナ株式会社の日本ゼネラルマネージャー（GM）であるアジュナ・クマラスリヤーは、「ハプロファーマ様、このたびは、イルミナの最もパワフルなシーケンサーで、かつ、日本初上陸であるNovaSeq™ X Plusシステムの導入、おめでとうございます。私たちは、人間の健康と患者の生活をこれまでにない規模で変革する精密医療を推進するために、貴社をサポートできることを楽しみにしています。」と述べています。

革新的な新技術を採用したNovaSeq™ X Plusシステムは、従来のシーケンサーの2.5倍となるスループットで年間2万の全ゲノム解析が可能で、ゲノムの探索や臨床的洞察を大幅に加速し、疾患の解明および患者さんの生活に変革をもたらします。

ハプロファーマ社は今後、東北大学 東北メディカル・メガバンク機構と連携しつつNovaSeq™ X Plusシステムを活用し、ゲノム解析を基盤とした治療・予防の推進に向けて貢献することを目指していきます。

プレスリリースに関するお問い合わせ：
ハプロファーマ社 ご連絡先

〒980-8575
宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1
東北大学医学部 5号館 1F
中央研究所・ゲノム解析センター
広報室
TEL: 022-272-2275
FAX: 022-272-2276



図 東北大学 東北メディカル・メガバンク機構で稼働中の NovaSeq™ X Plus (手前)